

## 盛岡市議会会派「市政クラブ」令和3年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【市民部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 2</p> <p>○ 町内会への補助金を増額されたい。</p>	<p>平成27年3月に策定した盛岡市町内会・自治会協働推進計画において、町内会・自治会等の補助金申請の手続きを簡素化し、使途の自由度を高める協働推進奨励金制度を28年度から開始いたしました。</p> <p>なお、町内会・自治会活動への支援のあり方について、現在、盛岡市町内会・自治会協働推進計画（平成28年度～令和2年度）の次期計画を策定中であり、町内会・自治会の方々から御意見を伺っているところでありますので、次期計画の策定作業の中で検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（市民部市民協働推進課）</p>
<p style="text-align: right;">P 2</p> <p>○ 特定の市民に複数の役職が集中している実態を把握され、市民参加が市民負担となっていないか実態を調査されたい。</p>	<p>令和元年度に町内会・自治会との意見交換会やアンケート調査を実施しており、その中で、役員が負担に感じる事として「役員の後継者探し」や「文書の量や会議の回数が多い」とのご意見が多かったことから、現在策定中の盛岡市町内会・自治会協働推進計画（平成28年度～令和2年度）の次期計画において、市で開催する会議の日程調整や市から町内会・自治会長あてに送付する文書を削減する等の取組により役員の負担軽減を図ってまいります。</p> <p>また、新役員への引継ぎが円滑となるように、新たに新任者向けの基礎講座の開催や各種手引きの改訂及び周知を予定しており、多様な人材が役員になりやすい環境づくりに努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（市民部市民協働推進課）</p>
<p style="text-align: right;">P 2</p> <p>○ 自転車事故防止のために、自転車保険制度の周知や車道の左側走行と夜間ライト点灯の指導を引き続き強化していただきたい。</p>	<p>自転車事故防止のための指導につきましては、警察や交通安全協会など関係機関と連携し、毎月8日の岩手県自転車安全指導の日の通勤通学時に街頭、学校周辺や駅駐輪場において、安全利用の呼びかけやルール・マナーの指導を行っているほか、交通指導員、学校や警察と連携した街頭指導、交通安全指導専門員等による小・中学校や町内会などにおける交通安全教室、高校生や専門学校生を対象とした自転車利用マナーに係る講話など啓発に努めてきたところであります。</p> <p>また、自転車保険制度の周知につきましては、交通安全教室の際に交通事故の責任と賠</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和3年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 3</p> <p>○ 早期に同性パートナーシップ条例を実現していただきたい。そのためのパブリックコメントを実施されたい。</p>	<p>償の説明など学年に応じた講話を行うほか、街頭指導等における保険加入促進のチラシの配布や広報における啓発など、保険加入の呼びかけを行っているところであります。</p> <p>今後におきましても、自転車事故の防止を図るため、警察、交通安全協会などの関係機関と連携し、幅広い年齢層に対し、街頭指導や広報などを通じて、自転車利用における交通ルールの遵守やマナーの徹底を呼びかけるとともに、保険制度の周知に努め、自転車の安全利用の促進に取り組んでまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（市民部くらしの安全課）</p> <p>同性パートナーシップ条例の制定につきましては、令和2年12月時点で67の自治体が制度を導入しており、今後も制度を導入する自治体が増加するものと見込んでおります。</p> <p>本市におきましても、同性パートナーシップ制度については「第3次盛岡市男女共同参画推進計画」において、計画期間中の実施を目指して検討を進める取組としており、条例または要綱による導入手法も含め、今後、制度のあり方についてパブリックコメントなども含め研究してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（市民部市民協働推進課男女共同参画推進室）</p>
<p style="text-align: right;">P 3</p> <p>○ 国民健康保険税の据え置きを続けていただきたい。また、子育て支援の観点から国保の「子どもの均等割減免」制度を導入されたい。</p>	<p>国民健康保険は、他の保険者同様、医療の高度化や高齢化の進展等の影響により、一人あたりの医療費が伸び続けている一方、被保険者数は、75歳に到達した方の後期高齢者医療制度への移行や、雇用状況の改善により、他の医療保険に加入する方が増えている影響もあり、減少傾向に歯止めがかからない状況です。</p> <p>平成30年4月から都道府県が国保の財政主体となる「都道府県化」に移行し、都道府県は医療給付に係る費用を全額市町村に交付する一方で、その費用に充てるため、医療費水準や所得水準に応じて算出する「事業費納付金」を市町村に課す仕組みとなっております。</p> <p>本市の場合、30年度当初予算において、本来であれば保険税率の見直しを行わなければならない状況でありましたが、国保財政調整基金を取り崩すことにより歳入歳出の均衡を図り、税率改正を行わない方針としたところであります。</p> <p>市民が安心して医療を受けられる機会を確保することが重要でありますことから、交付金等の積極的な確保や特定健康診査をはじめとする保健事業の充実強化による医療費適正化の推進、積み増しを行ってきた国保財政調整基金を活用すること等によ</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和3年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 3</p> <p>○ 空き家の再活用や管理を不動産会社と連携して徹底されたい。</p>	<p>り、現在の保険税率を少しでも長く維持できるよう努めてまいりたいと存じます。</p> <p>また、子どもの均等割減免につきましては、少子化対策の観点からも、現行制度において、国や県からの財源補てん等がなく、その負担は結果として加入世帯全体で負うこととなります。</p> <p>均等割の減免については、国の社会保障制度改革の中で実施されるよう、東北及び全国市長会、中核市市長会を通じ要請しており、今後も引き続き、国に要請を行ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">（市民部健康保険課）</p> <p>空き家の管理に係る不動産会社との連携につきましては、市において、空き家等の不動産査定や解体費用の見積り、売却の可能性などについて、不動産会社と連携を図りながら、適正に管理されていない空き家等の所有者に対する助言・指導を行う中で、状況に応じ、情報提供を行っているほか、空き家等に関する無料の相談会を定期的を開催しているところであります。</p> <p>今後におきましても、不動産会社など関係機関と連携を図りながら、空き家等が適正に管理されるよう取り組んでまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（市民部くらしの安全課）</p> <p style="text-align: center;">〔空き家の再活用については、都市整備部が回答〕</p>
<p style="text-align: right;">P 3</p> <p>○ 歩行者の安全特に通学路の安全対策を強化するためにゾーン30の計画的な導入を促進されたい。ゾーン30の導入ができない通学路は速度の出ない道路構造とされたい。</p>	<p>ゾーン30の導入促進につきましては、ゾーン30は、主に生活道路が集まっている区域に通学路が含まれている場合において整備が進められており、市内では、杜陵、本宮、土淵、見前、向中野の各小学校周辺にゾーン30が、岩手県公安委員会により指定され、区域内における歩行者等の通行の安全確保を図っているところであります。</p> <p>今後におきましても、通学路における歩行者の安全確保を図るため、ゾーン30の導入をはじめとした、地域の交通環境に合った安全対策について、警察など関係機関と連携を図りながら検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（市民部くらしの安全課）</p> <p style="text-align: center;">〔道路構造については、建設部道路管理課で回答〕</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和3年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 3</p> <p>○ 町内会管理の自立柱の大規模修繕の際の支援策を講じられたい。</p> <p>【建設部関係】</p>	<p>町内会管理の自立柱を交換・修繕する場合は、補助率6/10、上限額25,000円/本の補助制度がございます。</p> <p>また、公衆街路灯LEDリース事業における現地調査において、老朽化した自立柱の存在が確認されたことから、平成30年度からは、自立柱を撤去する場合に、補助率7/10、上限額35,000円/本の補助制度を創設したところです。</p> <p>しかしながら、柱の材質や構造等により、修繕費用が高額になる場合があることから、公衆街路灯の自立柱修繕に対する支援のあり方につきまして、検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(市民部市民協働推進課)</p>
<p style="text-align: right;">P 7</p> <p>○ 飯岡十文字からシティーマラソン折り返し地点の旧盛岡和賀線と現在の盛岡和賀線の交差点について市道側から和賀線に右折信号機を設置されたい。</p>	<p>信号機の設置などの交通規制に関することは岩手県公安委員会の所管事項となっております。右折信号機の設置につきまして、所轄の盛岡東警察署からは、設置に向けて検討を進めているとの回答をいただいているところであり、改めて確認したところ、「今後、交通量調査を実施し、交通実態を把握した上で、令和3年度の規制対策会議において、関係機関へ諮問する予定であります。」との回答でありました。</p> <p>市といたしましては、継続して検討状況を確認してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(市民部くらしの安全課)</p>